

平成 23 年度第 2 回根室市市政モニター会議【記録】

1. 日 時 平成 24 年 2 月 22 日（水）午後 1 時 30 分～午後 3 時 10 分

2. 場 所 根室市役所 3 階 大会議室

3. 出席者 【市政モニター】 15 名

【市 側】

市長、教育長、総合政策部長、総務部長、
市民福祉部長、水産経済部長、教育部長、経営推進課長
消防本部次長、都市整備課長、都市整備主幹

【懇談進行】総務部長

【司 会】総務課長

4. 開会挨拶（市長）

本日は、今年度最後の市政モニター会議となる。昨年 8 月に開催した第 1 回目の会議で、皆さんからいただいたご意見やご提言は、市政執行に十分反映させていただくとともに、行政運営の参考とさせていただいた。

根室市を取り巻く環境は現在も厳しく、長引く景気低迷に加え、予想をはるかに上回るスピードで人口減が進み、1 月末では、昨年と比較して 477 人減少の 29,111 人となった。このような状況を打開するため、昨年を「根室再興政策プロジェクト」の始動の年と位置付け、「人口減少の抑制」と「ふるさと再興」の具現化に向け各種施策事業を展開してきたが、2 年目の今年度は、より本格的な展開を図って行きたいと考えている。

昨日、平成 24 年度の予算を発表した。少子高齢化に伴う社会保障関係費の増加、高齢者対策の充実などに係る投資的経費の集中により、多額な財源不足が見込まれたところであるが、職員一人ひとりが改めて厳しい財政状況を認識し、発想の転換を図るなど全職員の英知を結集して予算編成にあたるよう指示し、具体的な「歳出の抑止」「歳入の確保」の方策を実施しての予算編成となった。

こうした中、最優先課題である「高齢者対策」と「教育環境の充実」に向けた取り組みのほか、積極的な各種施策の確保に努め、一般会計の予算規模は 164 億 7,500 万円と、前年度対比 3 億 8,200 万円の増となった。

分野別の「重点施策」としては、産業分野では、東海大学との共同事業による根室の将来に向けた「地域力」の強化に係る調査・分析などを実施する「産学官連携研究開発事業」。教育分野では、歯舞地区の小学校統廃合と耐震化を推進する「歯舞小学校校舎新築事業」や 4 つの中学校に補助教員を配置し、生徒の学力向上を図る「学力向上補助教員配置事業」。福祉分野では、はまなす園の整備を支援する「介護施設設備補助事業」や医師を目指す医学生等に対する「医師修学資金貸付金」の創設などを盛り込んだ。また、病院事業会計では、「新病院の建設」に係る建物本体工事や医療機器整備事業費等に、約 41 億 5,000 万円を計上した。

平成 24 年度は、当市における最重要課題である「新市立病院」が完成する年でもあり、「新病院の建設」を着実に実施するとともに、「産業振興対策」及び「教育・福祉分野」について重点的に配慮した予算の対応により、投資的経費とその財源として市債発行額が例年より多額と

なったところだが、第5次行政改革に掲げる「新規市債発行の抑制」を目標として、公債費及び市債残額の縮減を図るなど、将来の財源環境の変化に対応できる「自立可能な行財政基盤の確立」を目指したいと考えている。

本日は、新年度予算に関してはもちろん、普段から感じている市政全般について、忌憚のない意見をいただきたいと思うので、よろしくお願いいたしたい。

5. 出席者の紹介

6. 以下、懇談詳細

老人福祉施設について

モニター

根室の高齢化も加速し、全道平均を上回ると聞いている。安心して暮らせるまちづくりの実現に積極的な予算配分をしていると思うが、特養老人ホームはまなす園の整備はどのように進められるのか。

市民福祉部長

現在、特養老人ホームはまなす園は、50床で運営を行っている。本年6月に着工、平成25年2月の完成予定で36床の増床が行われる。平成25年の4月には、個室ユニットを含めた86床の運用となる予定。また、平成25年からは第5期介護福祉計画が開始され、平成26年には、セラピーこざくも30床の増床が計画されている。

高齢者福祉バスについて

モニター

高齢者福祉バスのバスを持っていても利用しない人がいるが、そのような人の支払いはどのようなになっているのか。

市民福祉部長

利用しない人もいるが、利用する人は1日に何回も利用する。利用の整理には、人件費等の費用の上乗せとなる。経費抑制のため3年前からバスの更新を1年から2年にするなど、根室交通の協力を得ながら実施している。全道で、この制度の実施は2市のみである。根室市としては、今後も高齢者人口の増加などを考慮し、未永く実施して行きたいと考えている。

モニター

高齢者福祉バスの対象は70歳と規定しているが、75歳に引き上げてはどうか。

市民福祉部長

現在の形で、実施が不可能となった場合に検討したい。今の制度内容を、維持して行きたいと考えている。

モニター

バスの利用は、利用者の体調や天候によっても変わってくると思う。そういった部分も含めて検討していただきたい。

市民福祉部長

毎年行っているアンケート調査を分析し、対応して行きたい。

児童会館の活用について

モニター

現在、花園と昭和児童会館が閉鎖されているが、今後の利用予定はあるのか。

2つの児童会館は災害時の避難場所となっているのが、閉鎖というのはどういうことなのか。

総務部長

昭和児童会館は、平成24年度の予算をもって地域活動支援センターを旧昭和児童会館に移動し、一部高齢者と併用して利用していく予定である。花園児童会館については、一般売却する方向で考えている。旧青葉児童会館においても老朽化が進んでおり、取り壊しに向け検討している。

現在は閉鎖されているが、地震など発生した場合には、市の職員が会館に向かい開放することになっている。避難場所としての位置付けは変わらない。

空き家と廃屋の対処について

モニター

平成20年3月に栄町会から市有地の空き家・廃屋への意見・要望を出したところ、総務の方から建物所有者へ対しての建物撤去の要請をすると回答があったが、現在もそのままの状態である。昨年秋に行われた空き家調査では、放置できない建物であるとして報告されている。この建物は玄関の入口が半開きであるなど、防災害を想定した場合に危険な建物となっている。また、ネズミが繁殖し、衛生面でも問題がある。所有者の高齢化等も考え、強制代執行を含めて今後どうするのか聞きたい。

消防本部長

毎年職員によって市内の空き家調査を行っており、現在市内には580件相当の空き家が存在している。管理が行き届いていない建物が70件程、所有者が不明な建物が15～16件である。消防署としては、侵入防止のロープや看板の設置しかできない状況である。

総務部長

市内には相当数の廃屋があり、今シーズンは東北地方で積雪等により家屋倒壊も起きている。廃屋について、どう対応するのかが社会的な問題となっている。強制代執行を行っている市があるが、さまざまな大きな問題がある。ごみの問題と同様に、こちらがごみとして判断しても、所有者からは財産の一部としての認識がある。行政が強制代執行を行うと不法投棄が増える恐れもある。今後、危険な廃屋をどうするかについては、所有者の責任の明確化などの問題もあり時間をいただきたい。

明治公園の樹木について

モニター

明治公園の一部の木が伐採されていた。何かしらの目的等あると思うので、理由を知りたい。また、伐採跡地はどうする予定なのか。

都市整備課長

今回伐採した場所の木は根が浅く、隣接住民から倒木の危険の訴えがあった。専門家とともに現地を視察して確認したところ、樹木に病気が発生していた。公園利用者や隣接住宅に倒れケガや損害を与えてしまう恐れがあるため、市民の安全を考慮した上で伐採した。跡地については、さくらの森として苗木の植樹を行うなど、緑を取り戻すよう検討している。

さくらの森について

モニター

根室は、桜が一番遅く咲くということで有名。明治公園の桜も、清隆寺のようにもっと増やしてもらいたい。

都市整備課長

桜の植樹は、今までに 1,300 本行ってきた。最東端の桜として有名になるよう、今後も植樹活動を継続して行きたい。

総合文化会館開催行事の案内板の設置について

モニター

総合文化会館の駐車場に、たくさん車が止まっているのを見かけるが、何の行事が行われているか分からない。道路から見える温水プール側の駐車場にでも、その日に何が開催されているか知らせる案内板を設置してほしい。

教育部長

看板の設置の仕方など、交通上の問題や歩道の占有などを検討しなければならない。提案として承り、検討させていただきたい。

コープさっぽろ前交差点の信号機について

モニター

コープさっぽろ前に設置の信号機が、市道から道道に出る赤から青への点灯時間が、異常に長いのでどうにかならないか。

市民福祉部長

年に一度、市から公安委員会に道路の改良や信号、横断歩道の設置などの要望を提出している。この度のご意見を、次回に要望したい。

鹿ネットの設置について

モニター

道の駅方面から鹿柵の設置を行っているが、東梅の方も行った方がいいのではないかと。

都市整備主幹

東梅地区の国道両側に住宅があるため、鹿柵が設置されると不便になるという生活上の問題や景観上の問題がある。東梅地区の鹿との衝突事故の件数は、ほかの地区と比べ 5 倍という統計も出ており、釧路開発建設部でも鹿柵設置の必要性を認めている。どこに設置するのが一番効果的で、東梅地区の国道近隣住民の方々に支障がないかなどを検討のうえ、設置の方向で協議を行っている。

障害者の保護について

モニター

札幌での障害者の妹を持つ姉妹の死亡事故について、各方面で対策を講じているのをニュースや新聞で目にしているが、根室市ではどのような対策を考えているのか。

市民福祉部長

札幌で起こった障害者の方の痛ましい事故を受けて、根室市では市職員が世帯を回ってリストを作成した。障害者がいる家庭が約 200 戸以上あり、社会的サービスを受けていないところは 37 戸となっている。必要に応じて安否を確認できるように検討をしているが、プライバシーの関係もあり難しい。根室市は近隣住民との強い結びつきに期待するとともに、具体的な方法が決まっ

た時点で、民生委員の方にもお願いしていく考えである。

施設などの標高について

モニター

昨年の震災時にイオンで買い物をしていた方が、職員の誘導で屋上へ避難したが、それより高い所へ避難した方が良かったのではないかと話題になった。花咲港の崖の上や市内の施設が標高何メートルなのか確認したい。市内一番高い浄水場が 50～60m というのは確かなのか。また、本町の海岸あたりで働く人は、漁連のビル当たりに避難しなくてはならない。その辺の標高も知りたい。

海拔確認箇所 花咲港の崖の上、イオン、大地みらい信用金庫（一時避難所）、水産ビル、警察署、マルシェ・デ・キッチン、浄水場

総務部長

花咲港車石で標高 30m、花咲港小学校で標高 46m となっている。昨年の東日本大震災で根室でも津波が発生したが、防潮堤（2.8m）を越えてきたのはこの震災が初めてである。花咲港の漁港から高台へ上がる一部の道路を避難路として整備もしており、これからも避難場所・避難路の整備を図っていく。震災を受けて、自分が住んでいる地域がどれくらいの高さにあるのかを示す目安として、昨年度、市でハザードマップを作成し全戸に配布した。これは、500 年間隔地震を想定し作成しているが、国では 500 年間隔ではなく 1,000 年間隔の地震にも備えなければならないという話も上がっている。また、3 月補正予算で津波が予想される太平洋半島線を中心に、100 箇所程の海拔表示板を電柱に取り付けたいと考えており、場所など決まり次第お知らせしたい。質問のあった標高確認箇所については、後日お知らせする。

調査の結果を下記のとおり報告。

市内各所標高調査

施設名	標高	建物の高さ	
イオン	約 6.50m		
大地みらい信用金庫	約 12.00m	24.00m	屋上
水産ビル	約 3.00m	15.00m	屋上 15.00m 4 階 11.60m
根室警察署	約 20.30m		
マルシェ・デ・キッチン	約 27.00m		
浄水場	約 46.00m		

標高は、水道施設課の水道戸番図より調査。建物の高さは照会。

歯舞地区の民生委員について

モニター

歯舞地区に女性の民生委員が何人いるか分からないが、女性の方が相談しやすいこともあり、できれば女性の民生委員を入れてもらいたい。

市民福祉部長

歯舞地区の女性民生委員は、友知地区に 1 名である。民生委員を選定する際には、必ず町会からのご意見などをいただいている。そのような要望があれば対応できるので、個々の事例で伝えてほしい。

同報無線について

モニター

幌茂尻に住んでいるが、災害時や午後 3 時などに流れる同報無線の放送が聞こえない。焼却場周辺は全く聞こえないが、スピーカーの近くに住んでいる人にはうるさいぐらいに聞こえる。風向きによっても聞こえないので、何とかしてほしい。

総務部長

風向きによって、聞こえない場合があるのは確かである。増設など、悪天候の状況でも聞こえるよう防災担当機関として工夫して行きたい。

道路側溝の柵の清掃について

モニター

千島町 2 丁目 47 番地の交差点の、道路の側溝柵に泥が溜まっている。除去計画などがあればその泥も除去してもらいたい。

都市計画課長

市では道路の清掃を委託し、定期的に柵や管・側溝などの清掃を、ブロックを組んで定期的に行っている。早速、現場を確認し対応したい。

交差点の改修について

モニター

千島町 1 丁目にある畳屋と旧福井歯科医院の交差点の道が、勾配がきつく危険なので整備してもらいたい。

都市整備課長

新年度の予算の中でも交差点改良事業として、交差点の改修は行う予定となっている。なるべく早い段階で解消したい。

防災訓練について

モニター

花咲港で実施している根室市の総合防災訓練を、多くの市民に見学してもらおうべきではないか。交通手段がなく、見学に来ることのできない人のために、福祉バスを活用してみてもどうか。

総務部長

昨年の訓練には、地域会館での非常食の試食を行ったことで、市民見学者が少なくなったという経緯もある。訓練については町会単位の訓練と総合的な訓練を考えているが、総合訓練の中で、見学のためにバスを利用したいという声があれば検討したい。

市立根室病院の医師と看護師の対応について

モニター

平成 23 年度の第 1 回のモニター会議でも意見として述べたが、市立病院の医師と看護師の患者との対応で、朝の挨拶や目線を合わせての会話などを意識してみてもどうか。

経営推進課長

昨年 3 月に、市立根室病院で市民アンケート調査を実施した。その中でも対応が悪いとの指摘があった。看護師の接遇研修などの活動を行ってきたが、まだ、こういった意見が多いという状

況は真摯に受け止めたい。アンケートを参考に細かい部分まで検証し、どのようなことができるか研究して行きたい。接遇研修についても引き続き実施して、さらなる向上を図って行きたい。

公共施設の喫煙スペースについて

モニター

他の地域の公共施設は、「喫煙スペースはここです」という看板や枠組みなどがされて分かりやすくなっているが、総合文化会館や市役所などの市の公共施設では、どこに喫煙スペースがあるのか不明確である。他の地域からきた方などに、どこに喫煙スペースがあるのか説明しなければならない。各地域によってもルールが違うので、利用しやすいように表示を進めてもらいたい。

総務部長

現状として関係者は把握しているが、市民からは疑問も生じる。しっかりと整理を行って対応したい。

ご当地キャラクター「シマレンジャー」について

モニター

青年会議所においてシマレンジャーというご当地キャラクターを作成した。前回のモニター会議において、人づくり・まちづくり補助を活用して事業を展開してくださいとお話を頂いたが、他の補助との重複となるため使用しにくいところがあった。バスや北方領土関係、福祉ガイドなどの冊子にも活用していただき、市民の方にも広く認知されるようになってきており、青年会議所の方でも、今後も力を入れて行きたいと考えている。何か、支援してもらえそうな制度があれば教えてほしい。

総務部長

シマレンジャーは、特に北方領土関係で活用させていただいている。北方領土関係だけではなく、総務部において観光を含めたシステムについて一度話し合いをして行きたい。

市立根室病院整形外科の診療受付時間について

モニター

私の友人の話だが、現在、整形外科の受付時間が10時30分までとなっているが、以前までの11時だと勘違いし、10時35分頃に病院に着き受付へ行ったところ「今日は10時30分までの受付です」と言われ、何の対応もしてもらえなかった。整形外科は毎日やっているわけでもなく、患者も仕事があるので休暇を取って通院している。受付時間が市民に浸透するまで、受け入れるような努力をするべきではないのか。

経営推進課長

不快な思いをさせてしまい、大変申し訳なく思っている。現在の整形外科の状況はご存知のとおり、木曜日だけの診療となっており、金曜日については予約診療という形をとらせてもらっている。釧路の日本赤十字病院から応援をいただき、医師を派遣してもらっている。一週間通して診ていた患者の数を、現在は木曜日と金曜日に集中させて診るため、10時30分までの受付となっている。時間を抑えなければ、医師自体が対応できなくなるという環境も考慮していただきたい。そういった中で、対応する者の言葉ひとつで印象が変わってくるので、病院全体としての挨拶などを含めた接遇の悪さが影響している部分もある。新年度からは整形外科に常勤医師1名が来る予定となっているので、新年度から今まで通りの診療体制を構築できるように進めていく。3

月末までは現在の診療体制が続く見込みなので、ご迷惑をかけることになるがご理解願いたい。診療時間変更の周知については、早めの周知を行いたい。現在の周知方法は、広報ねむろとホームページでの周知を取っているが、全ての市民の方々に浸透するには、それぞれの環境も違うので難しい。院内周知以外の方法も、改めて検討していきたい。

避難路の除雪について

モニター

桂木に住んでいるが、ハザードマップでは危険区域に該当している。今年はまだ積雪は少ないが、桂木の避難路が除雪されていない。また、桂木だけでなく全域の避難路の点検を必ず行ってもらいたい。

都市整備課長

今年は積雪が少なく何台かは出動しているが、現地の確認ができていない部分があるので、早速確認したいと思う。昨年の大震災にあたって、全域の避難路の管理についても、しっかりと行っていかねばならないと考えている。

市立根室病院循環器内科の医師について

モニター

現在、循環器内科の専門の先生はいるのか。

経営推進課長

現在 2 名の循環器内科医がいるが、1 名が今年度いっぱいで退職する。さらに、循環器医師の招へいに向けて取り組んでいきたい。

医師修学資金貸付金の利用について

モニター

根室から医師を目指す人が何人いて、根室に戻りたいという人は何人位いるのか教えてほしい。

市民福祉部長

医師の修学貸付金を平成 24 年度から始める。新たに医師を目指す方に月 30 万円、入学金 100 万円、医師なるまでの 6 年間で 2,100 万円を貸し付ける制度で、借りた期間と同一期間を根室市で勤めてもらえれば全額償還する必要はない制度であり、看護師についても同じく行う。月 30 万という額は道内 2 カ所で行っており、道内トップの額となっている。根室出身で、地域医療を目指す学生がいることは聞いている。

子ども手当について

モニター

国の子ども手当制度改正で、根室市では国の流れに反して子どもが生まれたら手厚く応援するような制度があればと感じた。

市民福祉部長

根室市が財源に余裕がある団体で、国の制度に上乘せして実施できるということであれば実施したいところだが、現在そういう状況にないこともあり、国の制度において運用している。根室市の 65 歳以上の人口が 27%と、非常に速いペースで高齢化率が進んでいるが、子どもに対する支援も必要と考える。子ども手当以外にも、できることがあれば考えていきたい。

避難路にある成央橋の耐震について

モニター

ハザードマップの避難路の道順については、現地を見て作成したと思うが、宝林町の避難場所は成央小学校や総合文化会館などが指定されている。避難路の道順にある成央橋は、地震の際に耐えられるものとして避難路に設定されたものか。

都市整備課長

成央橋は、平成 17 年に 3 カ年計画で JR と協議し改修工事を行った。耐震化の整備も行ったがどれくらいの震度に耐えられるかは明確にお答えできないが、問題はないと考える。

蒼香苑前の高規格道路について

モニター

建設が進められている蒼香苑あたりの高規格道路は、構造上問題はないのか。あの場所は地下を通らせるとなると、土地の形状として風が巻き上がって吹きだまりができて衝突事故が発生するのではないかと心配だが、釧路開発建設部には伝わっているのか。

都市整備主幹

平成 17 年から工事が始まり、自動車専用道路ということで蒼香苑へ行く道の下をくぐる立体交差となっている。吹きだまりができる状況は、釧路開発建設部でも把握しており、設計の中にも防雪林帯として木を植えて風を防ぐなどの対策を取っている。

消防署の移転後について

モニター

昨年 10 月に消防庁舎が大正町に移転したが、移転後、不便などは生じていないのか。

消防本部次長

事務室、車庫ともに広いスペースが確保されている。国道に面しているので、出勤に支障が出ないのかという話もあったが、今年度は救急件数で 80～90 件、火災件数で 8 件の出勤をしているが支障が生じたことはない。納沙布、厚床方面に向かう際も、現場までスムーズな走行ができている。

7. 閉会挨拶（市長）

本日は短い時間でありましたが、貴重なご意見をいただき誠にありがとうございます。根室市におきましては、北方領土問題をはじめ新たな問題や困難を抱えていますが、「協働のまちづくり」を基本に、これからもオール根室で乗り越え「根室の再生・再興」に向け前進してまいりたいと思う。

モニターの皆さんには、3 月末で任期満了となりますが、任期中に縛られることなくこれからもご意見等をお寄せいただきたい。本日は、誠にありがとうございました。